

# 刈谷市基幹型地域包括支援センター運営状況調査票

別添3

1. 地域包括ケアシステムの構築・推進		R6年度
1	市全体の現状および将来像やニーズを把握する。	
1	人口動態、市が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか。 いずれかの量的データによって、市全域の現状や将来予測等（例：高齢化率や世帯状況の推移、高齢者のニーズ等）を把握し、その記録がある場合に○	
2	介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか。 いずれかの計画を確認して、市または個別圏域の高齢者に係る課題（例：75歳以上の者の転入が多く軽度者の介護サービス需要が増す見込み等）を把握し、その記録がある場合に○	

2. 組織・運営体制		R6年度
1	市の実施方針に従って、センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る。	
3	市が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を作成しているか。 ・データまたは紙面等で策定されている場合に○	
4	当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか。 ・当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価で取り上げた課題に対して適切な対応策が記載されている場合に○ ・前年度の自己評価で課題が把握されなかった場合も○	
5	市の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか。 ・重点目標を定めた検討の記録（検討に関する会議のメモ、議事録等）が残され、かつセンターの事業目標として記載している場合に○	
6	センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか。 ・前年度のセンターの事業計画の達成状況及びその背景を分析して、センターの業務改善が図られている場合に○ ・前年度の分析で業務改善が必要な項目がなかった場合も○	
2	センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う。	
7	センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか。 ・センター業務の管理者がない場合は×	
8	センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか。 ・センターの事業計画を共有する会議等（会議等の形式は問わない）において、職員個々の取組内容を確認している場合に○	
9	センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか。 ・センターの業務量を把握したうえで、例えば、事務職員への業務分担や、センター職員が作成する介護予防サービス計画の上限数を決めて、それ以上のプランを委託する等の何らかの業務最適化の工夫を行っている場合に○	
10	特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか。 ・各職員の業務量を把握したうえで、専門性を踏まえた業務分担を行うためのルール等を定めている場合に○ ・例えば、資格ごとに4事業の主担当を割り振ったうえで、資格によらず複数人がチームとして活動するようにルール化することや、業務別に主担当と副担当を決めて、年度ごとに順次交代していく仕組みなどが該当する。	

3	センター職員の人材確保および育成を図る。		
	11	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか。 ・職員の人材確保や定着を目的として、例えば、地域の専門職養成機関等と連携して実習を受け入れる、上司との面談の機会を設ける、資格取得を保障する、研修受講機会を保障する、休暇を取りやすくする等の取組を推進している場合に○	
	12	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか。 ・センターに在籍する全ての職員が参加できる職場での研修を年に1回以上開催している場合に○、研修の主催者、内容、時間数は問わない。	
	13	センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加できるようにしているか。 ・センターに在籍する全ての職員が、少なくとも年に1回は職場外の研修に参加している場合に○、研修の主催者、内容、時間数は問わない。	
	14	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか。 ・メンタルヘルス対策として、例えば、職員に対するストレスチェックの実施、メンタルヘルスに関する研修会の開催、メンタルヘルスに関する相談窓口・担当者の設置、専門家によるカウンセリング機会の提供などが行われている場合に○	
	4 個人情報の保護		
	15	センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。 データ又は紙面で整備されている場合は○ 法人として整備していても可○	
	16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。 持出や開示に備え、個人情報の取扱について整理のうえデータまたは書面を整備し、持出・開示時に適正に処理されている場合は○	
17	市の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告（共有）の体制を構築しているか。 個人情報漏えいと苦情の両方に対して、対処および市への報告の体制を整備し、それをデータまたは紙面で整備している場合に○		
18	センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか。 センターへの苦情が全くない場合も、項目を満たしているものとする。		

3. 事業の実施		R6 年度		
1	地域型センターの全体調整			
	13	地域型センターから集約した地域課題について刈谷市及び生活支援コーディネーターと協議及び提案しているか。 提案した記録もしくは内容（メモ等）が残されている場合は○		
	14	地域型センターの前月の業務に係る実績について刈谷市と共有しているか。		
		ア	毎月、刈谷市から前月の業務に係る実績を受け取り、実績や地域型センターからの聞き取りから地域型センターの課題等を抽出しているか。	
		イ	抽出した課題から解決策を立て、刈谷市、地域型センターへ提案等しているか。	
		ウ	提案した解決策等は地域型センターで実施されているか。	
	エ	課題や解決策等を各地域型センターに共有しているか。		
	15	運営協議会の開催前に刈谷市から依頼があった場合は付議する案件について協議しているか。 協議の記録（メモ等）が残されている場合は○ 付議する案件がなかった場合は－		
	16	地域型センター連絡会及びセンター長会議の事務局として奇数月に開催・運営しているか。		
		ア	会議の日時を刈谷市と協議し、各地域型センターへ開催通知と議題等の提出を通知しているか。	
		イ	議題、回答の集約、出席者への提示をしているか。	
	ウ	会議開催前に刈谷市と打ち合わせを行っているか。		
	17	衣浦6市地域包括支援センター連絡協議会の運営に関して地域型センターと調整しているか。		
		ア	協議会で提示される議題を各地域型センターへ展開し、回答を取りまとめているか。	
	イ	協議会の開催市となった場合、運営に関して、刈谷市と協議し、役割分担を行い、その分担に応じた対応を行っているか。 協議会の開催市ではなかった場合は－		
	18	地域型センターの普及促進として、チラシ等の作成や普及活動を行っているか。 普及に行ったチラシ等、普及活動を行った記録がある場合は○		
	19	ワーキング（事業検討）チームの設立・運営を行っているか。		
		ア	長寿課職員1名と各地域型センター各1名から構成される課題解決を目的としたワーキングチームを立ち上げ、その目的を達成しているか。	
	イ	ワーキングチームの活動内容等は刈谷市、各地域型センターへ報告しているか。		
2	地域型センター業務の円滑な実施支援			
	20	地域型センターの業務全般についての意見交換や地域型センターが抱える課題について相談に応じ、課題解決に向けて助言し、指導しているか。		
		ア	1回/年、地域型センターを直接もしくはzoom等で訪問し、課題についてヒアリングを行っているか。	
		イ	アの他に、電話やメール、FAX等にて適宜要望や質問等を受付けているか。	
ウ	地域型センターからの課題について刈谷市へ報告、協議のうえ、必要に応じて関係機関等へ報告、依頼や調整などを行っているか。			
3	地域ケア会議の課題の集約			
	21	地域型センターが開催する地域ケア会議に参加し、把握した地域課題の内容を一覧にして取りまとめ、刈谷市に報告しているか。 検討の記録（検討に関する会議のメモ等）が残されている場合は○		
	22	地域型センターが開催する地域ケア会議に参加し、考え方や実施手法を整理し、課題抽出して刈谷市、地域型センター及び生活支援コーディネーターと検討を行っているか。 検討の記録（検討に関する会議のメモ等）が残されている場合は○		
	23	刈谷市が主催する自立支援型地域ケア会議に出席し、地域課題等の整理を行い、刈谷市に報告しているか。 検討の記録（検討に関する会議のメモ等）が残されている場合は○		

	4	各種会議への参加	
	24	委員として選任されている各種会議に地域包括支援センターを代表して参加しているか。 いきいきクラブ連合会、要保護者対策地域協議会、権利擁護支援推進協議会、在宅医療・介護連携推進協議会、自殺対策計画推進委員会等、刈谷市が実施する会議	
	25	地域包括ケアシステム構築に向けた関係会議へ地域包括支援センターを代表して参加しているか。 出席を予定していたが虐待対応など緊急対応のため出席できないことがあった場合は○	

	5	認知症総合支援事業の施策推進	
	26	刈谷市、認知症総合支援事業における機能強化型センター業務の受託者と地域の課題や目標等について共有しながら相互に連携し、認知症施策の効果的な取組を推進しているか。 地域ケア会議に参加し、把握した認知症課題を共有していれば○	

	6	医療と介護の連携	
	27	在宅医療と介護連携体制の構築に向けて、刈谷市が企画する医療と介護の連携についての研修会や講習会などの後方支援をしているか。 相談等何らかの形で支援をしていれば○	

	7	権利擁護業務の支援及び普及啓発																		
	28	ア	虐待事例の解決に向けた支援並びに高齢者虐待の防止及び高齢者の養護者に対する支援等を刈谷市高齢者虐待マニュアルに準じて実施しているか。 刈谷市高齢者虐待対応マニュアルに準じて実施し、ケースに応じた対応をとっているか。																	
		イ	虐待通報から終結までの情報を各年度ごと虐待通報一覧に都度入力しているか。																	
		ウ	虐待通報一覧と経過記録を用いて、前月末までの進捗を毎月10日までに刈谷市へ報告しているか。																	
		エ	基幹型センターに相談があった地域型センターの前年度虐待事例のケースの件数を入力してください。 前年度から継続のケースでも入力。実人数を入力。																	
		<table border="1"> <tr> <td>富士松包括</td> <td></td> <td>雁が音包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部包括</td> <td></td> <td>中央包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td>依佐美包括</td> <td></td> <td>朝日包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計件</td> </tr> </table>		富士松包括		雁が音包括		中部包括		中央包括		依佐美包括		朝日包括					合計件	
		富士松包括		雁が音包括																
	中部包括		中央包括																	
	依佐美包括		朝日包括																	
				合計件																
緊急・処遇困難ケースの解決に向けた検討会の開催及び刈谷市・関係機関と連絡調整、同行訪問等により地域型センターを支援しているか。																				
29	ア	基幹型センターに相談があった地域型センターの前年度の新規困難事例のケースの件数を入力してください。 過去に終結した事例、記録のない事例は新規として計上																		
	<table border="1"> <tr> <td>富士松包括</td> <td></td> <td>雁が音包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部包括</td> <td></td> <td>中央包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td>依佐美包括</td> <td></td> <td>朝日包括</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計件</td> </tr> </table>		富士松包括		雁が音包括		中部包括		中央包括		依佐美包括		朝日包括					合計件		
	富士松包括		雁が音包括																	
中部包括		中央包括																		
依佐美包括		朝日包括																		
			合計件																	
イ	地域型センターより緊急・処遇困難ケースの相談を受けたら、地域型センターと対応に関する検討し、必要に応じて検討結果を刈谷市へ報告しているか。																			
ウ	基幹型センター内で介入が必要と判断した場合、地域型センターを交えたケース会議を行っているか。																			
エ	地域型センターとの役割分担を明確にし、対応しているか。																			
オ	介入後も適宜、地域型センターとの連絡、調整を行っているか。																			

	30	緊急時には地域型センター、刈谷市と連携し迅速で適切なケース対応をしているか。	
	31	地域型センターからの成年後見制度の活用促進、消費者被害の対応に関する相談について支援を行っているか。 成年後見制度の活用促進、消費者被害の対応に関する相談がなかった場合は－	
		権利擁護業務について地域型センターを支援しているか。	
	32	ア 権利擁護に関わる地域型センターからの相談に応じ、必要に応じて助言、関係機関との調整を行っているか。	
イ 支援の実施においては地域型センター、刈谷市と役割分担を行い、必要な支援を行っているか。			

	8 資質向上及び研修等の実施		
	33	長寿課職員及び地域型センター職員の資質向上のための研修・会合を年1回以上企画、実施しているか。 研修を1回以上開催している場合は○	
		刈谷ケアマネ連絡会の事務局を担い、ケアマネジャー等のための研修会を年1回以上企画、実施しているか。 研修を1回以上開催している場合は○	
	34		
35	長寿課新任者職員のための研修会を4月、10月に企画、実施しているか。 10月に長寿課へ異動した職員がなければ4月の企画、実施のみで○		

	9 相談支援			
	36	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な医療・介護・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っているか。 困難事例や権利擁護事業につながるような事例についても含む		
		ア	高齢者とその家族及び地域住民からの相談に応じ、内容に応じて適切なサービス機関や制度の利用へつなげるよう支援しているか。	
		イ	地域課題の解決に向け、刈谷市や地域型センター、生活支援コーディネーター及び地区社協などの各種地域団体との協力体制を整えるための検討を行っているか。	

	10 施策への提案、実施		
	36	事業内容に定めるものの他、刈谷市における地域包括ケアシステムの構築のための市域での取り組みについて、必要に応じ施策提案を行い実施しているか。 提案の記録、資料等が残されている場合は○	